

バス・タクシーは、いわゆるエッセンシャルサービスとして、新型コロナウイルス禍においても最低限の業務を継続し、社会の安定維持を支えてきたところですが、厳しい経営環境の中で、事業継続が困難となり、廃業を選択せざるを得ない事業者も既に出始めており、今後、こうした傾向に一層拍車がかかることが懸念されます。

**関東管内のバス・タクシー廃止状況：貸切バス 68件、法人タクシー 15件**  
(令和2年12月15日現在:いずれも同年2月以降分を集計)

## 2. バス・タクシーにおける感染予防対策

～従来からの対策に加え、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の追求を進めています～

バス・タクシー業界では、それぞれ『新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン』を策定し、乗務員の検温・マスク着用・手指消毒など、基本的な感染予防対策を徹底しています。

また、バス・タクシー車両自体が有する高い換気性能に加え、コロナ時代に対応した『新たな移動空間』の追求を進めています(下記参照)。マスクの着用や会話機会の低減など利用者の皆様からのご協力も得ながら、感染予防の徹底、安全運行に万全を期しております。

### 《バスの取組事例・車両の換気性能》



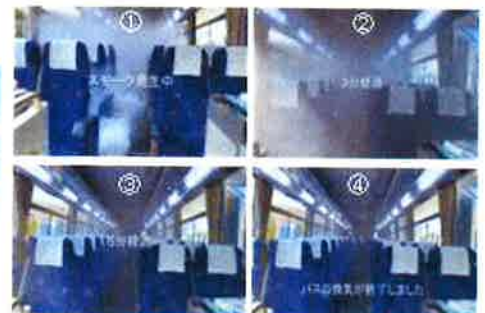
高効率空気清浄機の例(路線バス)



AI搭載サーマルカメラの例(貸切バス)



無光触媒による車内抗菌施工の様子  
(路線バス)



車内換気テストの例(貸切バス)

(一社)東京バス協会 HP より

<https://www.tokyobus.or.jp/pdf/karidouga.pdf>